

## 論系だより

### 【二〇二一年度 論系体制】

早稲田大学文化構想学部多元文化論系では、二〇二一年四月に渡邊義浩教授が文学部より異動され、九月にクリストファー・リープズ准教授が新たに着任された。一九名の専任教員が、英語圏文化／ヨーロッパ文化／アジア文化／中東・イスラーム文化／Global Studies in Japanese Cultures Program（国際日本文化論プログラム、略称「Gulp」）という五つのプログラム体制のもと、授業を行った。

本年度開講された一七のゼミは、異文化受容論／アメリカ文化論／言語・文化・英語教育／イギリス・アイルランド・英連邦諸国／地中海文化論／ヨーロッパ文化論／ユーラシア文化論／日本文化史／東アジアの生命観と倫理／漢字・漢文文化／現代中国文化論／思想文化論／古典中国／中東・イスラーム文化論／Seminar on Performing Arts Culture in Japan／Seminar on Japanese Popular Culture and Media／Seminar on Diversity in Japanese Culture である。

### 【二〇二一年度 活動報告】

#### ・論系行事

コロナ禍により、前年度に引き続き今年度も、二年生向けの論系ゼミ・卒業研究ガイダンス（九月）をはじめ、文化構想学部一年生向けの論系進級ガイダンス（七月・十一月）などの論系行事がオンラインで行われた。なお、二年生を二〇名規模のクラスに分け、担任（小田島、高屋、中澤、源、吉原）のもと、数回のクラス・ミーティングを対面で行った。

#### 【論系室より】

二〇二一年四月より、金孝珍助手、藤本庸裕助手が新たに着任した。